

令和5年度

# 入学試験 国語問題

## 注

- 解答はすべて解答用紙に記入すること。
- 問題用紙は持ち出さないこと。
- 字数制限のあるものは、原則として句読点、記号も一字に数えます（指示のあるものは除く）。

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私たちのどこかに、<sup>①</sup>いまの私はホンモノの私ではなく、どこかにあるはずのホンモノの私を探し求めたいという欲求がないでしょうか。「自分らしく」<sup>②</sup>ありたい、自分に忠実な人生を歩みたい。ベスト・ワンでなくともいいけれど、オンリー・ワンでありたい。こうした切実な願いは、私たちの「自己実現」の欲求の現れです。

その場合のホンモノとは、英語でいえば「authenticity」（オーセンティシテイ）で、本来的な、自分らしさという意味がこめられています。この自分らしさ、ホンモノは、何らかの形で明確化され、表現されなければ意味をもちえません。<sup>a</sup>、テイラーが言うように、私たちは、「自分にとって人生にどれだけの意味が存在するかは自分自身の表現力に依存する」ということを強く意識するようになっていく」（『自我の源泉』）からです。（一）

この意味で、「自己」は、「表現的な自己」であることによって自分らしさ、ホンモノとしての実感をもつことができるのです。この点は、たとえば、若者たちのファッションに対する <sup>I</sup> なほどのこだわりを見れば明らかです。

少し前までは——たとえばバブルのころとか、 <sup>b</sup> 高度成長期などでも——、夢とか目標とかいえば、よい大学に入るとか、よい会社に就職するとか、出世するとか、もう少し単純な話だったように思いますが、いまは、「そんなこと」よりも「もっと大切なこと」<sup>②</sup>があつて、それは、真の自分らしさを追究することなのだという考えが結構大きな力をもちつつあります。

重要なのは、<sup>②</sup>自分の真価（自分らしさ）が発揮できるスペシヤルな何かを見つけ、それに打ち込むことなのだ、と。人との競争に勝つことよりも、「自分の世界」で自分らしく生きるほうがよっぽどカッコイイですよ、というわけです。ベスト・ワンよりオンリー・ワンの生き方です。

<sup>c</sup>、そのようなホンモノ探しには <sup>A</sup> フク雑な気持ちにさせられてしまいます。なぜなら、ホンモノの自分、自分らしさを見つけ出すことは至難の業だからです。（二）

それでも、自分らしさの追究をしない者は×（ペケ）だとか、自分らしい生き方を引き当てた人間が○（マル）だとか、い

ささか単純な決めつけがオウ行している感じがします。現在ではそれが、一つの文化的な現象になっているのではないでしょうか。

( 中 略 )

「ホンモノの自分を探せ」

これが、時には強迫観念になり、人を追い込んでいることが結構あるのではないかと思うからです。その価値観に照らして、「これは本当の自分ではない」「もっと輝くホンモノの自分があるはずだ」と、( ③ ) 転 ( ) 倒している人たちがいるのだとしたら、ホンモノ探しの功罪について考えざるをえません。

もちろん、ホンモノ探しにはプラスのソク面<sup>C</sup>があります。芸術というものはすべて自己表現の願望から生まれてくるのですから。

しかし、芸術的な価値のあるものを表現できるのはごく一握りの人であって、普通の人にはそれは縁遠いもののはずです。そのために、さんざんもがいたあげく、結局何も見つけられず、何ら個人的にもなれず、やっぱり自分はダメだと絶望することもあるでしょう。

逆に、II になれない私は生きていく価値がないとまで思ってしまうことになるくらいなら、「サラリーマンは気楽な稼業ときたもんだ」と、ヘイ凡な終身雇用の文化に甘んじていたほうがむしろ思いう人もいますでしょう。

それくらい、ホンモノ探しは神経をへトへトにさせるのです。これは、絶対に手の届かない目標を彼岸に立てて、永遠にそれに向かつて努力しつづけるような、<sup>⑤</sup>ヘーゲルの言うところの「不幸の意識」に近いのかもしれない。

d、世の中の一部は、そんな状況を黙って見ていないのです。( ③ )

人びとのそんなぐよくよ<sup>E</sup>をカイ消するためのセラピー本や、マイナス思考をプラス思考に転じさせる自己啓発本のようなものをぞろぞろと繰り出してくるのです。新卒の幸福論です。人の頭をさんざんぐっておいて、そのあとで痛み止めやしつぷ薬を売る、そんな「悪徳商法」まがいの文化が蔓延<sup>まよえん</sup>しているのです。

やりきれない気持ちになってしまいます。<sup>⑦</sup>

私は、うつの人、引きこもっている人、自殺未遂の人……、※あいろ隘路に迷い込んでいる人びとを、ただ何となく時代の病理として扱うのではなく、自己実現に失敗した凡人の群れと見るのでもなく、精神的な弱さとして切つて捨てるのでもなく、彼らをむやみに自分らしさの探究に駆り立てるものをしつかりと見つめ直しておく必要があると思うのです。(4)

人は身につけるものによって、他人とは違う自分らしさをアピールしようとするわけですが、このホンモノ探し文化から浮かびあがってくるのは、人とは違う「自分らしさ」を求める願望は、絶対に「自分だけ」ではかなえることができないということです。なぜならば、いくら自分を鏡に映して自分だけの Ⅲ な世界に浸ってみても、人が「いいね！」と評価してくれなければ、ホンモノをアピールしたとはいえないからです。

この「独我論」と「コミュニケーション」との間で宙吊りになっている状態で、そのような矛盾した努力を全員が必死になつてやっているのが、ホンモノ探しの文化なのです。

( 中 略 )

ホンモノ探し、自分らしくありたいという願いが、自分に忠実であろうとする近代的な自我の一つの「徳性」を示しているとしても、それが時には<sup>※</sup>ナルシシズムや神経症的な病を作り出しかねないことにもつと注意を払うべきです。

(姜尚中『続・悩む力』より)

※ テイラー：チャールズ・テイラー。カナダの哲学者。

ヘーゲル：ゲオルク・ヴィルヘルム・フリードリヒ・ヘーゲル。ドイツの哲学者。

蔓延：病気や悪習が広まること。

隘路：狭くて通行困難な道。

ナルシシズム：自己愛。

問一 傍線部A～Eのカタカナを漢字で表記したとき、同じ漢字を使うものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A フク|雑

- ア フク数の答えが出る。  
イ 山の中フクで休む。  
ウ フク袋を買う。  
エ 予習とフク習をする。

B オウ|行

- ア 車のオウ来が激しい。  
イ 何のオウ答もない。  
ウ 大陸をオウ断する。  
エ 草原の中オウに立つ。

C ソク|面

- ア 天体観ソクをする。  
イ 道路のソク壁にぶつかる。  
ウ ソク成栽培を行う。  
エ ソク答を避ける。

D ヘイ|凡

- ア ヘイ常通りの営業をする。  
イ 核ヘイ器の脅威に備える。  
ウ 工場をヘイ鎖する。  
エ 電池をヘイ列につなぐ。

E カイ|消

- ア 十年ぶりの再カイをする。  
イ 待遇をカイ善する。  
ウ 頭のカイ転が速い。  
エ 議会をカイ散する。

問二 a d に入る適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上使用しないこと。)

- ア しかし      イ だから      ウ そして      エ あるいは      オ なぜなら

問三 次の一文は本文中の〈1〉〈4〉のどの箇所に入れるのが適当ですか。数字で答えなさい。

先ほど、若者のファッションを例に出したように、ホンモノ探しの願望が消費社会のいちばん川下で大衆化したものがファッションです。

問四 傍線部①「いまの私はホンモノの私ではなく、どこかにあるはずのホンモノの私を探し求めたい」とはどのような欲求ですか。解答欄に合うように、本文中から漢字四字で抜き出して答えなさい。

問五 I に入る語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 神経質      イ 無機質      ウ 均質      エ 上質

問六 傍線部②「自分の真価（自分らしさ）が発揮できるスペシヤルな何かを見つけ、それに打ち込むこと」の例として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分だけが持っている特技に磨きをかけ、自分に自信を持つていくこと。
- イ テストで自分だけ間違えた問題を家に帰ってから何度もやり直すこと。
- ウ 自分だけが周りから注目されるよう、何事も努力し続けること。
- エ 自分だけがつらいと考えず、周囲との調和を大切にしていくこと。

問七 傍線部③「（ ） 転（ ） 倒」の空欄に入る数字をそれぞれ漢数字で答え、四字熟語を完成させなさい。

問八 傍線部④「ホンモノ探しの功罪」について説明した次の文の空欄に当てはまる適切な語句を、指定の文字数に合うように本文中から抜き出して答えなさい。

例えば芸術における「ホンモノ探し」においては、（ 1 七字）から芸術的な価値のあるものが生み出されることもあるが、さんざん努力した結果（ 2 三字）にもなれず、（ 3 二字）することもあ

問九

Ⅱ

Ⅲ

に入る語として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア サステナブル
- イ オンリー・ワン
- ウ アドバンテージ
- エ ナルシシスティック

問十 傍線部⑤「へトへトに」の品詞名を漢字で答えなさい。

問十一 傍線部⑥「それ」は何を指していますか。本文中から抜き出して答えなさい。

問十二 傍線部⑦「やりきれない気持ちになってしまいます」について、このような時筆者はどのように対処すればよいと考えていますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「自分らしさ」を追究している自身に誇りを持ち、探し続けられよう。

イ 「自分らしさ」を探究するために、マイナス思考をプラス思考に転じさせられよう。

ウ 「自分らしさ」を探究することをやめ、終身雇用の道に甘んじて進められよう。

エ 「自分らしさ」を探究する本質的な理由を考え、見つめ直せられよう。

問十三 傍線部⑧「矛盾した努力」について、どのような点が「矛盾」していますか。適当な部分を解答欄に合うように本文中から探し、その最初と最後の三字を抜き出して答えなさい。



問十四 本文の特徴として、適当でないものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 筆者の実験が多く述べられており、説得力のある構成となっている。

イ 様々な語に「」をつけることで、言葉の意味を読者に強調している。

ウ 具体例を多く用いることで、読者が文章をとらえやすくなっている。

エ 文章全体が敬体で書かれており、丁寧でやさしい印象を与えている。

問十五 本文の内容と合致するものとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「自分らしさ」とは他者の意見を通してからのみ、比較が行われ差別化が図れるものである。

イ 人は苦しい時にさまざまな自己啓発本を読み、精神面で強くなれるよう努力しなくてはいけない。

ウ 「自分らしくありたい」と強く思いすぎること、苦しんでしまうことがあるということを理解しておくべきだ。

エ 現在、「自分らしさ」を追究し続けることが全てではないという文化が少しずつ広まってきている。

【二】 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、陽成院やうぜいゐんおりゐさせ給たまひての御所は、大宮よりは北、西洞院にしとうゐんよりは西、油の小路よりは東にてなんありける。

そこは物ものすむ所にてなんあり I。 A。大きな池のありける釣殿に、番ばんの者寝たりければ、夜中ばかりに、細々あさぎとある手にて、この男おきなが顔かほを II までけり。 B。けむつかしと思ひて、太刀たちを抜きて、片手かたてにてつかみたりければ、浅黄あさぎの上下かみしも着たる翁おきなの、殊ことの外ほかに物ものわびしげなるがいふやう、「我われはこれ、昔住むすみし主ぬしなり。浦嶋うらしまが子の弟いとしへなり。古いにしへよりこの所に住みて、千二百余年になるなり。願ねがはくは許ゆるし給へ。ここに社やしろを作りて齋いはひ給へ。さらばいかにもまほり奉たづらん」と言いひけるを、「我が心一つにてはかなはじ。この由よしを院へ申してこそは」と言いひければ、憎にくき男おとこの言い事ことかなとて、三度上たびかみさまへ蹴た上げ蹴た上げて、なへ III となして、落おつる所を、口くちをあきて食くひたりけり。 C。なべての人ほどなる男と見る程に、おびたたく大きになりて、この男をただ一口にて食くひてけり。

(『宇治拾遺物語』より)

※ 物：化け物・妖怪。

番の者：夜に番をする者。

けむつかし：薄気味悪い。

浦嶋が子：浦島太郎。

齋いはひ：つつしみ祭まつりつて。

なへなへ：力が入らないようす。

なべて：普通。





〔次頁に問題が続きます〕

【三】 次の設問に答えなさい。

問一 次の四字熟語の  にあてはまる漢字を後のA～Jの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。また、それぞれの意味として最も適当なものを後のA～Jの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(意味については同じ記号を二度以上用いないこと。)

- |  |   |                          |                          |                          |
|--|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|  | 1 | 五里                       | <input type="checkbox"/> | 中                        |
|  | ア | 霧                        | イ                        | 無                        |
|  | ウ | 夢                        | エ                        | 務                        |
|  | オ | 心                        |                          |                          |
|  | 2 | <input type="checkbox"/> | 客                        | 万来                       |
|  | ア | 先                        | イ                        | 主                        |
|  | ウ | 一                        | エ                        | 笑                        |
|  | オ | 千                        |                          |                          |
|  | 3 | 言語                       | <input type="checkbox"/> | 断                        |
|  | ア | 同                        | イ                        | 道                        |
|  | ウ | 動                        | エ                        | 胴                        |
|  | オ | 銅                        |                          |                          |
|  | 4 | 危機                       | 一                        | <input type="checkbox"/> |
|  | ア | 拔                        | イ                        | 髮                        |
|  | ウ | 発                        | エ                        | 初                        |
|  | オ | 八                        |                          |                          |
|  | 5 | 臨                        | <input type="checkbox"/> | 応                        |
|  | ア | 氣                        | イ                        | 基                        |
|  | ウ | 希                        | エ                        | 機                        |
|  | オ | 期                        |                          |                          |

(意味)

- A すっかり迷って方針が立たないこと。
- B 言葉では表せないほどひどいこと。
- C 一つの物事を命がけで熱心に行う。
- D あとわずかで非常に危険な状況に陥りそうなこと。
- E 失望し、自分の身を粗末に扱うこと。
- F 多くの客が次から次へと来ること。
- G その場の情勢の変化に対応して、適切な処置をすること。
- H 状況が急に変わって一気に決着がつくこと。
- I 一人で多くの敵を相手にできるほど強いこと。
- J 勇ましく決断力のあること。

問二 次の慣用句はどのような場合に用いられますか。後から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号を二度以上用いないこと。)

- 1 手をこまねく。
  - 2 ほぞをかむ。
  - 3 気がおけない。
  - 4 すねに傷をもつ。
  - 5 さじを投げる。
- ア 気になって仕方がない。  
イ 生活が貧しい。  
ウ あきらめて途中でやめる。  
エ 人をだます。  
オ 何もしないで傍観する。  
カ 後悔する。  
キ よくない隠しごとがある。  
ク 心を許し、打ち解けることができる。